

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回 小金井市地下水保全会議
事 務 局	環境部環境政策課環境係
開 催 日 時	平成21年8月17日(月) 午後3:00~4:40
開 催 場 所	市役所第二庁舎 801会議室
出 席 者	別紙のとおり
傍 聴 の 可 否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍 聴 者 数	1名
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 前回の会議録の確認について(資料1) (2) ボーリング調査データについて(資料2, 3, 4) (3) その他 3 次回の地下水保全会議の日程について
会 議 結 果	別紙のとおり
発言内容・発言者名 (主な発言要旨等)	別紙のとおり
提 出 資 料	資料は、情報公開コーナー、図書館、議会図書室にある議事録に添付してあります。
そ の 他	

平成21年度第1回 小金井市地下水保全会議

議事録

日 時：平成21年8月17日（月）15：00～17：00

会 場：第二庁舎 801 会議室

■ 出席者

(委員)	小倉 紀雄 会長	土屋 十囀 委員
	風間 ふたば 委員	齊藤 祐磁 委員
(欠席)	山田 啓一 副会長	
(事務局)	環境部 深澤部長	環境政策課 石原課長
	環境係 鉄谷係長	環境係 立川主任
	環境係 吉崎副主査	環境係 板本
(傍聴者)	1名	

■ 会議次第

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 前回の会議録の確認について（資料1）
 - (2) ボーリング調査データについて（資料2・3・4）
 - (3) その他
- 3 次回の地下水保全会議の日程について

■ 審議経過（議事録）

- 1 開会
小 倉 会 長： それでは、平成21年度第1回小金井市地下水保全会議を開催します。

- 2 議題
 - (1) 前回の会議録の確認について
小 倉 会 長： まず、前回の会議録の確認ですが、事前にメールで送られていると思います。何か、訂正等ありましたら、今週中に事務局まで連絡してください。何も無ければ、承認ということとします。

- (2) ボーリング調査データについて
小 倉 会 長： 次にまいります。事務局からお願いします。
鉄 谷 係 長： 資料2について説明を行った。（説明内容省略）

- 小倉会長： はい、ありがとうございます。
これは、都立小金井工業高校ですね。名前が変わって、校舎も新しくなるのですね。
- 石原課長： はい、そうです。
- 小倉会長： 何か気づいた点などありますか。
- 土屋委員： 都立高校ということで、東京都の治水対策の一環として、公立の施設は浸透施設を作っていると思いますが、たとえば、敷地面積に対してどれくらい浸透させるかなど、そういったことは協議しないのですか。
建物はかいてありますが、敷地全体の中で、どれくらい浸透施設を作るのか良くわかりません。校庭なども入れますと、相当広い面積になりますから、敷地に対して、浸透貯留の施設を相当作るようになっていると思いますが。
- 深澤部長： 崖線から近いところなので、浸透禁止区域かもしれません。ただ今確認していますので、少しお待ちください。
- 小倉会長： では、ボーリングの杭のほうはどうでしょうか。
- 土屋委員： このボーリングの柱状図では、地下水面がよくわかりませんね。
- 小倉会長： ちょっと小さいですね。
- 立川主任： 先ほどの話ですが、浸透可能区域という確認がとれました。担当者の話では、50ミリ対応で浸透させていい区域ということでした。
- 土屋委員： それではぜひ、市と協議していただいて、相当の浸透施設を作ってください。
- 小倉会長： そうですね。
- 石原課長： ボーリング柱状図の孔内水位は6,75メートルと書いてあるようです。
- 土屋委員： そうですね。5～6メートルくらいだと思います。
- 小倉会長： 水位は高いですね。
これは、滄浪泉園の方に流れる地下水ではないですね。しかし、崖線の上ですし、地下水面を考えると、地下水の流れに対しての影響は考えられると思いますが、考えられる湧水はどうでしょう。どこか近くに観測している井戸はありますか。
- 立川主任： 資料4の裏面に、東側にあたる消防署のところの井戸のグラフを載せてあります。一年間で大体10メートルくらいで平均しているようです。
- 小倉会長： そうですか。
- 立川主任： 道路を挟んですぐ崖線が南側なのですが、水は南のほうに落ちるのでしょうか。
- 土屋委員： 最近の滄浪泉園の湧水は、出方などどうですか。
- 立川主任： 一定しています。
- 小倉会長： 滄浪泉園のもっと東側には、湧水はあるのですか。
- 立川主任： 市役所第二庁舎のすぐ東の下に郵便局があって、その法面から多少水が出ていますが、それは違うかもしれないです。わからないところですが。
- 土屋委員： 滄浪泉園の場合は、かなり継続して安定した流量が出ているのですね。

立川主任： はい、出ています。

土屋委員： ですからたぶん、かなり深いところの非圧縮性の地下水だと思います。しかし、深いところの地下水ということは、その周辺の地下水が関係するわけなので、影響が無いとは言えないですね。

小倉会長： そうですね。

立川主任： 浸透率が多ければよいのでしょうか。

土屋委員： 浸透していったものがどこに出るかはわかりません。

小倉会長： 地下水面よりも、かなり深いところまで杭は入るけれど、浸透施設を作って対応するというので、十分活用してほしいということですね。

また、引き続き近くの井戸の観測を続けて、注意深く観ていってほしいということです。

せっかくですから、雨水浸透のモデルとして監視を続けて、その効果などを検証するといったことをやるといいと思います。

続いて、資料3の説明をお願いします。

鉄谷係長： 資料3について説明を行った。(説明内容省略)

小倉会長： この施設についてのボーリング柱状図はわかりやすいですね。杭はうつのですか。

立川主任： 直接基礎なので、杭は打ちません。

小倉会長： 地下水位よりかなり上のほうでの工事になるのですね。

立川主任： 地下に入るものはローム層のところで止まるということです。

小倉会長： ローム層まで入るということですが直接大きな影響はなさそうですね。

土屋委員： こういった高齢者施設はどういった浸透施設を作るのでしょうか。

石原課長： 環境配慮計画書では、雨水浸透ますなどの浸透施設を設置し、また、浸透性舗装を採用するとあります。

土屋委員： たとえば、屋根雨水は全面的に浸透ですか。

深澤部長： 小金井の場合、昭和63年7月から建築指導基準を設けまして、その中で新築住宅については浸透ますを設置していただくことになっています。公共施設や社会福祉施設だから特段の配慮を、ということにはしていません。

小倉会長： では、その基準にしたがって、設置していただくということですね。ここは、前はどのような建物があったのですか。

鉄谷係長： 普通の住宅です。更地になっていたところでしょうか。

小倉会長： そうですか。

齊藤委員： このあたりの地下水は、仙川の向かっているのでしょうか。やはり、南にいつているのでしょうか。

土屋委員： ここは、駅からどれくらい離れていますか。

齊藤委員： 1キロメートルは無いと思います。

土屋委員： ではまだ、向こうには行っていませんね。

齊藤委員： そうですか。地面は向こう側に坂になっていますね。

小倉会長： 流れとすれば、仙川方向ではなく、野川方向ということですね。

では、これについても、環境配慮型の施設としていただくということで、計画書に書いてあることを遵守していただきたいということでお願いします。

続けて、資料4の説明をお願いします。

鉄谷係長：資料4について説明を行った。(説明内容省略)

まだ、宅地開発等審査会には出されていませんが、資料として出しました。

小倉会長：まだ具体的には決まっていないのでしょうか。

ボーリング柱状図はありますね。これも直接基礎ですか。

地盤改良して、その上に乗せる形ですか。

鉄谷係長：まだ詳細がわかりませんので、ボーリングデータだけになります。

土屋委員：比較的基礎は浅いですね。それほど高い建物にはならないのでしょうか。だから杭は打たないのでしょうか。それで地盤改良するということでしょうか。

風間委員：建物と同じ範囲くらいで地盤改良するのでしょうか。

小倉会長：全体をやるのではないのでしょうか。

齊藤委員：ここは、再開発の地区になっていますね。

深澤部長：はい。第一地区に入りますので、開発に合わせてやるということだと思います。

小倉会長：今は、地盤改良での凝固剤等の水質への影響などは大丈夫なのですね。水位ぎりぎりくらいまでやるようですね。

齊藤委員：環境省から通知がでていて、酸性土の場合は六価クロムに注意しろということですが、それくらいでしょうか。

南口商店街の黄金の井戸は、どれくらいの位置にありますか。

深澤部長：そこから、東側の位置になります。地図上の7の数字のあたりになりますね。

齊藤委員：そうですね。

風間委員：駅前の開発地域はどれくらいまでですか。

土屋委員：前原坂上の交差点までくるのですか。

齊藤委員：そうですね。ここまでですね。

小倉会長：6丁目プロジェクトとなっているので、全体の計画の一環ということなのでしょうね。

風間委員：近くでマンションを建てるときに、べた基礎にしないで地下水が流れるようにと言ったと思いますが、ここは、何で杭を打たないで地盤改良をするのでしょうか。それくらいのことをしないとたないのでしょうか。

土屋委員：どういう構造物を建てるのかわからないですから。

小倉会長：そうですね。わかりませんね。

土屋委員：本町6丁目プロジェクトというと、市役所第二庁舎の駐車場のところも含まれるのですか。

石原課長：名称として、そのようにつけてあるのだと思います。

土屋委員：では6丁目全体ということではなく、工事箇所としては、ここの場所だけです。

ちょうどこの前原の交差点のところから低くなっていくのですよね。坂の始まりですね。

風間委員：ここに、この形で土壌改良剤が入ってきたら、地下水はどうなりますか。わきにそれるしかないですか。

小倉会長：そうですね。さけて流れるでしょう。

具体的な計画が出ていないので、よくわからないですね。

風間委員：杭を打つより、地盤改良するほうが安いのですか。

土屋委員：安いですが、杭を打つような、高い建物を考えていないのではないのでしょうか。もし高層だったら杭を打てばいいのですから。

小倉会長：ちょうど角地なので、高い建物は建てられないのではないのでしょうか。こちらでも新築になるので、同じように雨水浸透施設をつくるということですね。

風間委員：少し心配なのは、この辺りが同じような工法をとり始めた事ですね。少し気になりますね。

小倉会長：そうですね。

石原課長：確認しましたら、14階建ての建物だそうです。

小倉会長：そうですか。かなり高いですね。

土屋委員：では、べた基礎ではないですね。後で杭を打つために、他の意味で地盤改良するのですね。

小倉会長：地盤改良して、さらに杭を打たないともたないですね。

土屋委員：面積全体を地盤改良すると、確かに地下水を阻害しますね。

小倉会長：やはり、わきを流れていくことになるのでしょうか。

土屋委員：市のほうから、なぜ地盤改良するのかは聞けるのですか。

石原課長：はい。これから宅地開発等審査会がありますので、そのときに基礎の考え方など、聞くことができます。

風間委員：イトーヨーカドーの建物の影響がわかるような観測井戸はありましたか。

石原課長：再開発の区域内に昔からある井戸が残されていたのですが、今現在どのような状態になっているか確認してみて、観測出来るようなら使ってみたいと思います。

小倉会長：そうですね。確認してください。

これから、宅地開発等審査会にかかるということなので、その時に地盤改良に対する懸念があったということで、意見を出していただきたいと思っています。

(3) その他

小倉会長：それでは、その他ということで、事務局から何かありますか。

石原課長：資料5について説明を行った。(説明内容省略)

小倉会長：これの主催はどこですか。

石原 課長： 京浜河川事務所です。

小倉 会長： 国ですね。京浜河川事務所、浸透施設効果検証実験を行ったということですね。

土屋 委員： 参考にお聞きしたいのですが、このグラフは、新次郎池の水位ですか。

石原 課長： はい、そうです。

土屋 委員： 以前に、新次郎池は水が出なくなり枯渇しましたが、また出ているのですか。

立川 主任： はい、今は出ています。

土屋 委員： それは、どういうきっかけで出たのかわかりますか。浸透効果があったのでしょうか。

齊藤 委員： 早稲田実業のところは、以前はグラウンドでしたでしょうか。

石原 課長： はい。新日鉄のグラウンドでした。

風間 委員： これは、浸透ますをつけた場所は一箇所ですか。それで、効果がわかるのでしょうか。

小倉 会長： これは、浸透ますではなく、浸透人孔というものです。ここに、人工的に水を入れたのですよね。それで、新次郎池の湧水箇所です水位を測って、効果があるかを検証したということですね。

風間 委員： 今年度も継続するようですが、どうせやるのなら周辺の土壌環境なども調べればよいと思いますが。

齊藤 委員： ずいぶん直接的な実験ですよ。

小倉 会長： 参考データでしょうけれど、多摩川流域協議会で、水流実態解明プロジェクトを、野川流域でやるということを知ったことがあるので、その関係でしょうか。

石原 課長： そうですね。多摩川流域協議会の一事業としては、まだ始めたばかりなので、これを広くやっていくというところまではいってないと思います。

小倉 会長： 最初にやった事例ということでしょうか。

全体の意図がよくわかりませんが、またデータが出たら報告してください。

他には何かありますか。

吉崎 副主査： はい。雨水貯留施設設置費補助金の追加報告と、毎年実施している、水質監視測定の結果報告書を参考資料でお出ししました。

小倉 会長： はい、わかりました。

風間 委員： 報告書を見ると、硝酸が高いですね。

齊藤 委員： えらく低いところもありますが、極端に低いのは、鉄分が多くて還元されているのかもしれないですね。

小倉 会長： ここまで低いのはめずらしいですね。

他には何かありますか。ないようでしたら次に入ります。

3 次回の地下水保全会議の日程について

小倉 会長： 次回の日程ですが、事務局の予定はいつごろですか。

石原課長： 11月ごろでいかがでしょうか。

小倉会長： 11月ですと、後半がいいでしょうか。委員の皆さんはいかがですか。

風間委員： 後半ですと27日の金曜日くらいがいいのですが。

小倉会長： 皆さんもよろしいですか。時間は午後3時からがいいですね。では、次回は11月27日金曜日の午後3時からの開催にします。

他にはよろしいですか。

なければ、これで閉会します。